



minä perhonen + 百草 つくりの回生 VIII. 「風を解く」

第1部 2021.11.20 SAT → 11.28 SUN
第2部 12.04 SAT → 12.20 MON

*会期中予約制 (11.7 SUN 21:00 より予約開始)
・11.20, 11.21, 12.4, 12.5 終日予約制
・上記以外は 14:00 以降入場自由
詳細、申込は百草HP 特設ページへ

11:00—18:00
休廊日 | 12.7 TUE, 12.15 WED
デザイナー 皆川明 在廊日 | 11.20 SAT—21 SUN

galerie
momogusa

出品内容

*minä perhonen

ブラウス / ドレス / スカート / パンツ / ニット / カットソー / デニム / コート / 靴下 / panini bag / ファブリックボード / インテリアファブリック
ブランケット / ラグ / タオル / トレイ / 手ぬぐい / サーマグ / ポストカードセット / マスキングテープ / モレスキン / ファーバーカステル / ハグレセット
thank you very badge / piece, bag / basket bag / bucket bag / book cover / usagi cushion / onomekaman / neco cushion / lintu cushion

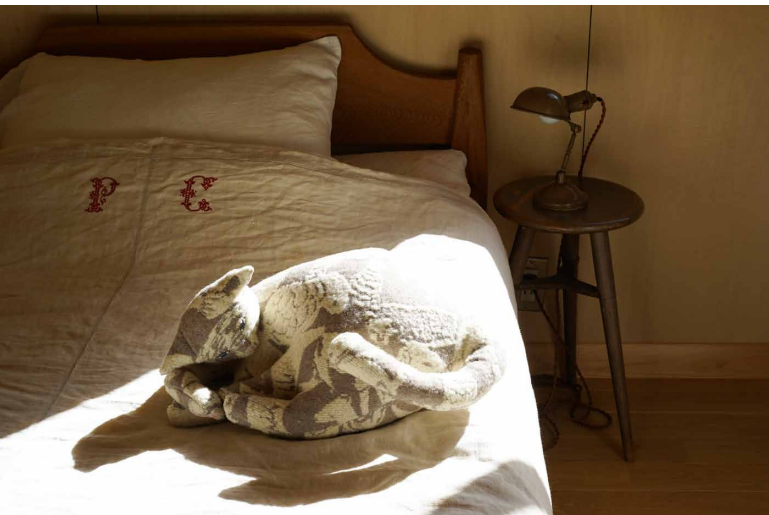
第一部は洋服中心、第二部はインテリア中心にご用意いたします。

*皆川明 × 安藤雅信 | アートピース・器

大きな揺らぎや自由な線が特徴の安藤の器に、皆川さんが風のように絵筆を走らせた回生の器たち。ゆらゆら鉢、カタコト皿。
minä perhonen のテキスタイルでつくった器のためのマットを料理ごとに選びそれぞれの器の個性をお楽しみください。

*minä perhonen × momogusa アトリエ | 百草サロン

- minä perhonen の上質な服地を用いて仕立てた特別な百草サロン
- 百草サロンのためのテキスタイル“bird”, “choucho”, “LIFE”, “jellybeans (large)”を用いた百草サロン
- インテリアファブリックを用いた百草サロン



風を解く

皆川明

長い間、私たちの物を選択する意識は、トレンドという言葉でくられたスタイルが次々と生まれてそれに敏感に反応するという事で意図的につくられていたような気がします。トレンドとして生まれたものは、次のトレンドが生まれると同時に陳腐化し、新たな物へと移っていきました。それは物の価値を短命にするだけでなく“つくる”という営みにも同質化と合理化の中で競争を生みしました。これからの暮らしは、多様で固有であることの価値を互いに認めて、自由な選択の中で長く物を愛用して、それぞれの暮らしを共生させていきたいと思います。

そんなことを思う時『風を解く』という言葉が浮かんできたのです。

安藤雅信

2009年の夏、岩手県の山の中で皆川さんと偶然出会った。彼の書籍を読んでいたで、「100年続ける会社」についての考えを、ほぼ初対面なのに様々な角度から質問したことを覚えている。返ってくる言葉は、予想と正反対の答えばかり。その幅の広さと奥の深さに感心した。

2010年12月、第一回目の展覧会前、ここから続く展覧会にタイトルを付けようという事になり、minä perhonenと百草に通底する言葉を探した。
『デザインがプロセスを含めて自分たちらしい事である様に「回」という文字はそのキーワードとなる。私達は想像の着地点を目指してものを作り、新たな視点による形を探す。このプロセスには「余」を生む宿命があり、その「余」を新たな生命に変えていくもうひとつのプロセスが必要となる。それが二重のプロセス「回」となる。その事が「つくる」に関わる人と時と物の持つエネルギーをデザインという領域で生かす道だと思っている。(皆川明 2010「つくりの回生」DMより)』

12年経ち今年で8回目となった今回、minä perhonenが考えたテーマは「風を解く」。その思いは「再生」だろうか直感した。蘇生・更生・再誕・再認など様々な意味を持ち、今まさに必要なことばかりだが、それはつまり、既に12年前に皆川さんが名付けてくれていたキーワードである。同じことを言い続けているうち、時代が追いついた。
更にコロナ禍の今、各々が感じたこと信じたことをやっと思える時が来たように思う。

今回、その「つくりの回生」を、器のコラボレーションで実現する回となった。
「大きな揺らぎや、自由な線を生まれ持っているのが安藤作品の特徴。百草の工房に眠っていたそれらに僕が絵を描き、新たな息吹をふきこみたい。それにminä perhonenのテキスタイルで器のためのマットも用意すれば、二重のコラボになるね。器も安定するし、料理ごとにマットを選ぶ楽しさも増える。それぞれの器の個性を楽しんで頂きたいなあ。」
この皆川さんの言葉に、僕と工房スタッフは発想の自由さと価値の転換を知り、「あの積まれて眠っている器が生き返る」と目を輝かせた。どんな存在も生かされたいのは人間だけではない。

時代に欠けているものを見つけ出しては、それを作り出す。皆川さんの走りには、とても追いつけないが、少しでも今展で実現できたらと思う。

皆川明 | ミナペルホネン デザイナー

1995年に「minä perhonen」の前身である「minä」を設立。ハンドローイングを主とする手作業の図案によるテキスタイルデザインを中心に、衣服をはじめ、家具や器、店舗や宿の空間ディレクションなど、日常に寄り添うデザイン活動を行っている。デンマーク Kvadrat、スウェーデン KLIPPAN などのテキスタイルブランド、イタリアの陶磁器ブランド GINORI 1735 へのデザイン提供、新聞・雑誌の挿画なども手掛ける。

minä perhonen (ミナペルホネン)

自然の情景や社会への眼差しから想像を広げ、丁寧に作り進めたテキスタイルデザインを特徴とするブランド。衣服に始まり、インテリアへとデザインの幅を広げながら、日々のための長く続くものづくりを目指す。金沢21世紀美術館や青森県立美術館などのユニフォームも手掛ける。2019年より東京都現代美術館、兵庫県立美術館で開催された展覧会「ミナペルホネン/皆川明 つづく」が、2022年春に福岡市美術館、夏には青森にて巡回予定。



チカクのトーク | ワークショップ

- 詳細及び予約方法は、百草HP 特設ページをご覧ください
- ご参加のお客様は、15時以降は来廊予約なしでご入場いただけます。
- 今回、飲食はございません。お土産にminä perhonen elävä より VOSTOK LABO のお菓子をご用意しております。

*チカクのトーク

11.20 (土) 16:30-18:00 | 百草カフェにて | 定員25名 | オンライン配信あり
ご予約開始日 | 11.6 (土) 10:00 よりメール受付開始
前回の2019年7月から二年越しでの開催となった今展。テーマ「風を解く」について。大きく変わった世界と、変わらないものづくりを続けるminä perhonenの現在、未来について。minä perhonen デザイナー 皆川明さんに、安藤雅信がお話を伺います。

*ワークショップ「パッチワークの百草サロンをつくろう」

11.21 (日) 16:00-18:00 | 百草カフェにて | 定員14名
ご予約開始日 | 11.7 (日) 10:00 よりメール受付開始
百草サロン*にminä perhonen piece, の布でパッチワークを施しオリジナルのサロンをお作りいただけます。

*百草オリジナルの筒状スカート。エプロンのようにあしらったり、スヌード、掛け布などにも。今回は腰紐付きの単サロン (ベルギーリネン生地) へのパッチワークです。+重ねサロンのコーディネート・コースも。着付けのご指導もさせていただきます。



*出張カフェ・販売 10時より ももぐさカフェ・庭にて
庭 ふじっこばん 11.20 国産小麦の自家製酵母パンとお菓子
MIROKU COFFEE 11.20, 21 / 12.4, 5 自家焙煎珈琲、焼き菓子
mimosa 11.20, 21 ヨーロッパのお菓子
パン屋二兎 11.21 自家培養発酵種で醸す毎日のパン
煤と棲む 11.20, 21 (15時まで) 手廻し焙煎珈琲
中條順子, at the table 12.4, 5 vegan meal & sweets, drink
宗像堂 12.4 天然酵母パン
ギャラリー内では飲食禁止 / ゴミは各店舗または所定の場所へお願いします。

*今後のスケジュール
12.21 tue-2022.1.7 fri 冬季休廊
1.8 sat- 1.17 mon 常設展示
1.18 tue- 1.21 fri 展示替えのため休廊
1.22 sat- 2.6 sun 百草冬百種展「倉敷意匠アチブランチ・Café gewa」
休廊日未定

*ももぐさティカウトカフェ
11.22 mon-11.28 sun, 12.6 mon-12.20 mon
11:00-18:00 (L.O 17:30) メニュー・席の予約不可
- ルヴァンのパン take out メニュー
- 宗像堂 カトルカール (全日)、パン販売 (11.22, 27)
- コーヒーカジタのコーヒー
- Organic Vegan Sweets の vegan アイスクリーム

*お知らせ
- 駐車場に限りがあり周囲に有料パーキング等がないため、できるだけ乗り合わせていただくか公共交通機関にてお越しください。
- ギャラリー内では展示の都合上、お手荷物をお預かりしています。保管場の混乱を防ぐためにも、小さくまとめたお手荷物でお越し頂けますようご協力をお願いします。

特設HP



来場予約



